

# 令和5年度 土佐町社会福祉協議会事業報告書

## 〈事業総括〉

社協強化・地域支援計画の4年目を経過した令和5年度は、職員各々が計画を遂行する中で、自ら評価し、次の計画策定を意識した年度となりました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、イベントや外出(旅行)も、パンデミック以前の状態に戻りつつあります。人と人とのつながりの重要性が地域からも湧き上がっていることが伺えます。

令和5年11月には他所の訪問介護事業所の閉鎖に伴い、町内の事業所が社会福祉協議会のみとなりました。深刻化した人材確保に対し、行政のご理解をいただき、何とか社協の訪問介護事業所が継続していける見込みとなりました。また、平成26年から改定ができていなかった給料表の見直しができ、人材確保の為の処遇改善が図れました。

**法人運営部では、**コンプライアンス(法令遵守)やガバナンス(統治・管理)を意識し、書類の見直しや文書管理について模索しました。法人運営部としての総務的な業務に加え、在宅、地域の事業を兼務しながらの中、多様な業務をできるだけ整理しながら、丁寧に取り組みました。

**在宅福祉部では、**様々な環境問題や障がいによって、生きづらさを抱えながらの生活で、多様な生活課題に直面した時、一緒に考え、一緒に解決に向かえるよう取り組みました。

社会福祉士や介護福祉士といった有資格者の確保については、課題として残ったままですが、本年度は訪問介護員の業務量確保の為の対応として、非常勤だった職員2名を正規雇用することができました。

化学物質過敏症の方への対応として、相談支援専門員と訪問介護員の派遣を実施しました。車内のオゾン発生器を購入したり、対応職員が使用する洗剤も無臭の物を準備するなど取り組みました。

**地域福祉部では、**地域共生社会の実現の為、社会福祉法の改正から創設された重層的支援体制事業が始まりました。あったかふれあいセンターを中心に、参加する人たちの興味や関心事から活動を生み、広げたり横につなげたりといった事を意識して取り組みました。ボランティアセンターや認知症総合事業等もあったかふれあいセンターに絡めていく事業展開を図りました。

地域福祉活動計画推進では、地域の行事等に積極的に取り組んでいます。あらゆる地域の情報や介護予防事業の広報の情報発信に努め、フェイスブックに投稿しました。

## ◆法人運営部門◆

信頼を高めるため、情報発信を強化すると共に、住民の皆様との対話を大切にしてきました。また、福祉事業推進のための財源確保に努めました。

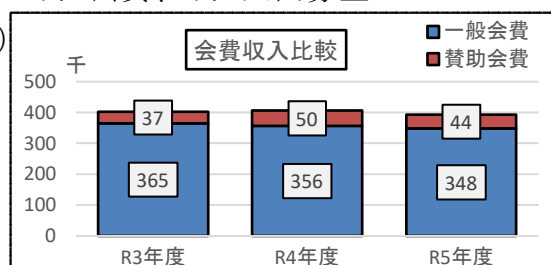
- (1) **行政一体の地域福祉推進の為の社会福祉大会開催**      参加者 90名
  - ▶ 健康福祉課を中心に、行政と連携して内容検討、準備から開催に至るまで実施
  - ▶ 顕彰 ・ご長寿 5名 ・社協役職員 3名 ・地域貢献 2名 ・ボランティア功労 2名
  - ▶ 福祉推進校活動発表 小学校4年生、中学校1年生
  - ▶ 地域活動発表 平石地区
  
- (2) **年3回の福祉とさちょう発行**      4月(2,100部)、7月(2,100部)、12月(2,000部)発行
  - ▶ 原材料高騰等により、12月発行分より印刷数を2,100部から2,000部に変更
  
- (3) **ホームページの運用**
  - ▶ 福祉とさちょう、職員募集、ボランティア募集、講座開催案内を掲載
  
- (4) **フェイスブックによるタイムリーな情報発信**
  - 記事アップ数 50回 (昨年12回)
  - リアクション数 798件 (昨年198件)      リーチ数 6,164件 (昨年1,684件)
  
- (5) **住民への理解促進**
  - ▶ 活動計画懇談会:10回、社協出前講座:1回を開催
  
- (6) **地区長会における事業理解促進**      地区長会への参加 4回
  
- (7) **マスコミ・他の広報紙等への掲載**      実施なし
  
- (8) **各地域、団体を対象とした社協事業説明**
  - ▶ ハピネススポーツクラブ総会等に参加し、連携に努めた
  
- (9) **地域福祉推進の為の基金の有効活用**      6団体
  - ▶ いしはらの里協議会、地蔵寺集活センター、平石地区、相川ららら実行委員会、集落活動センターみんなの森、上野地区
  - ▶ 理事会において、地域支援積立金の活用額を検討。次年度に反映する事が決定

(10) **募金・寄付・会費増強への取り組み**

- 地区長会において説明、協力依頼 2回 7月:会費、9月:共同募金

(一般会員:300円・賛助会員:1,000円)

- ▶ 会費徴収額 348,070円
- ▶ 一般会費 1,162世帯
- ▶ 賛助会費 44人(役職員等)



- 共同募金について住民への周知に努め募金活動を実施した

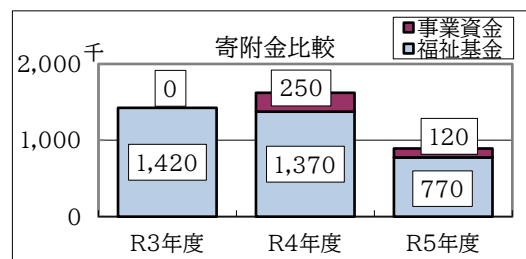
- ▶ 一般募金 目標額: 914,000円 実績額: 969,926円 (昨年比98.8%)

- 日本赤十字社土佐町分区として、活動資金募集を行った

- ▶ 日赤活動資金 目標額: 615,000円 実績額: 570,830円 (昨年比98.0%)

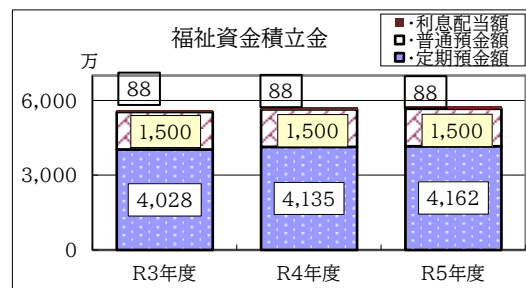
- 福祉基金・事業資金等、寄付の受け入れ

- ▶ 福祉基金 10人 770,000円
- ▶ 事業資金 7人 120,000円
- ▶ その他 6人  
米(4人)、切手・ハガキ、介護用品



- 福祉基金積立額

- ▶ 定期預金額 41,624,720円
- ▶ 普通預金額 15,000,000円
- ▶ 利息配当額 879,938円



(11) **賛助会員増強への取り組み**

- 理事、監事、評議員、職員のほか、社会福祉大会に於いて8名のご賛同をいただいた
- NPO法人への特別会員加入について、職員間で検討した

各法令や計画に基づき、确实かつ合理的な業務ができるよう改善を図りました。

(1) **社協強化・地域支援計画におけるPDCAサイクル実施**

- ▶ 中間、期末に評価・報告を作成し、推進状況を確認しながらの取り組みを意識できた

(2) **職員会等における定款・規程・要綱・マニュアルの確認**

- ▶ 事務局規程、就業規則、給与規程の改定を説明

(3) 労務管理事務の適正化・合理化

- ▶ 社会保険資格について、社会保険事務所に相談 1回

(4) 委託事業の評価と今後の方針について行政と協議 3回

(5) 団体事務の合理化と団体活動支援 6団体

- ・民生委員児童委員協議会 ・老人クラブ連合会 ・遺族会  
・身体障害者協議会 ・日本赤十字社土佐町分区 ・共同募金委員会

(6) 理事会(部会)の開催 5回 (内 部会1回)

理事会		決議事項	参加人数
第1回	令和5年5月26日 10:00～12:25	・令和4年度事業報告 ・令和4年度法人本部拠点区分収支決算について ・令和4年度監査報告について ・定時評議員会の開催について ・理事・監事の選任について ・令和5年度地域支援金の交付決定について	理事 10人 監事 1人 計 11人
	令和5年6月28日 13:30～15:05	・会長、副会長の選任について ・部会の構成について ・各部部长・副会長の選任について ・顧問の選任について ・正職員の募集について ・給与に関する規程の訂正について	理事 9人 監事 2人 計 11人
部会		・各部の部部长・副会長の選出。事業説明意見交換。	
第3回	令和5年9月22日 13:30～14:40	・令和5年度法人本部拠点区分収支補正予算について ・第42回土佐町社会福祉大会の開催について ・社会福祉大会表彰推薦・感謝状贈呈(案)について ・評議員会の開催について ・理事の候補者について ・第三者委員の委嘱について	理事 9人 監事 1人 計 10人
	令和5年12月4日 13:25～14:27	・事業費積立金取り崩しについて ・令和5年度法人本部拠点区分収支補正予算について ・評議員会の開催について ・諸規程の一部改定について	理事 8人 監事 1人 計 9人
第5回	令和6年3月18日 9:25～11:05	・令和5年度法人本部拠点区分収支補正予算について ・令和6年度事業計画について ・令和6年度法人本部拠点区分収支予算について ・定時評議員会の開催について ・諸規定の一部改定について(5事務局及び職員に関する規程) ・諸規定の一部改定について(6職員就業規則) ・諸規定の一部改定について(7嘱託職員・臨時職員就業規則) ・諸規定の一部改定について(11給与に関する規程) ・嘱託職員雇用契約について ・令和6年度地域支援金の交付決定について ・令和6年度業務分担について	理事 9人 監事 2人 計 11人

(7) 評議員会の開催

4 回

評議員会		決議事項	参加人数
第1回	令和5年6月20日 13:35～14:42	・令和4年度事業報告について ・令和4年度法人本部拠点区分収支決算について ・令和4年度監査報告について ・理事・監事の選任について	出席委員 9 人
第2回	令和5年10月5日 13:30～14:10	・令和5年度法人本部拠点区分収支補正予算について ・理事の選任について	出席委員 10 人
第3回	令和5年12月25日 15:36～15:58	・事業費積立金取り崩しについて ・令和5年度法人本部拠点区分収支補正予算について	出席委員 11 人
第4回	令和6年3月28日 13:35～14:17	・令和5年度法人本部拠点区分収支補正予算書について ・令和6年度事業計画について ・令和6年度法人本部拠点区分収支予算について	出席委員 7 人

▶ 監事監査

5 月 22 日

(8) 三役会の開催

2 回

(9) 職員会 部会 主任会の開催と充実

○ 主任会・職員会を実施し、報告・連絡・相談による各部門間の連携に努めた

- |          |      |             |     |
|----------|------|-------------|-----|
| ▶ 職員会    | 12 回 | ▶ 主任会       | 5 回 |
| ▶ 在宅福祉部会 | 4 回  | ▶ 地域福祉部会    | 8 回 |
| ▶ 法人部会   | 6 回  | ▶ あったか職員連絡会 | 6 回 |

(10) 訪問介護・障がい者相談支援事業の安定した経営のための人材確保

▶ 訪問介護員を随時募集中であるが、応募なく、非常勤職員を正規登用し提供量を確保した

(11) 職員面談の実施

- |            |     |             |     |
|------------|-----|-------------|-----|
| ▶ 会長・副会長面談 | 1 回 | ▶ 事務局長・次長面談 | 1 回 |
|------------|-----|-------------|-----|

専門機関からの支援を受け、コンプライアンスの徹底を図るとともに、職員の資質向上をめざしました。

(1) 資質向上の為に各研修・学習会への参加

16 日 延べ 19 人

(2) 目標をもって業務にあたる評価できる体制づくり

▶ 個別目標シートを实践、(目標設定(4～5月)、中間評価(10月)、期末評価(2月))

(3) 自主学習会(事例検討会)を実施し、協働体制を強化

1 回

(4) 労働局・税務所等専門機関からの指導助言を仰ぐ 1回 (税理士)

(5) 法改正に則した諸規程の見直し

- ▶ 事務局及び職員に関する規程 一部改定
- ▶ 職員、嘱託職員・臨時職員就業規則 一部改定
- ▶ 給与に関する規程 一部改定

(6) 先進的な社協との交流・視察研修

- ▶ 必要に応じて、会計処理などを他社協に相談、情報共有を図った

(7) 文書保存・破棄・管理

- ▶ 規程を改定し、保存期間の見直しを図った
- ▶ 職員会において、文書保存、データ保存について検討した

(8) 休暇取得等 処遇改善

- ▶ 夏季特別休暇、有給休暇の取得を促進
- ▶ 「子の看護休暇」について検討し、就業規則に規定した

行政・各関係機関との連携を強化し、即応性のある支援体制をつくるよう努めました。  
また、第6次地域福祉活動計画と連動した事業の推進に努めました。

(1) 第6次地域福祉活動計画評価委員会の設置・運営 実施なし

(2) 行政・社協相互の事業理解のための連携会議を開催 3回

(3) OJT(職場内訓練)に取り組み、各職務の役割を明確化して支援体制を強化

- ▶ 個別目標シートを作成し、各職員が個々の業務・能力開発目標を定め取り組んだ

(4) 役職員の地域担当制の明確化と地域活動への参加

- ▶ 懇談会への参加、各担当地区の支援の方向性の協議、関わりと参加促進を図った

(5) 災害・事故等に関する行動計画を推進

- ▶ 既存計画の確認、見直しを検討中

(6) 町・県の実施する連携に関する会議への参加

町	▶ 集落支援員連絡会	10回
	▶ 集落活動センター連絡協議会	1回
	▶ 役場地域担当者リーダー会議	7回
	▶ 役場地域担当者会	9回
	▶ チョイソコ連絡会	1回
	▶ 福祉課との連携会議	3回
	▶ 生活支援・介護予防連絡会	4回
	▶ 土佐町地域ケア会議(個別ケア会議)	4回
	▶ 土佐町要保護児童対策地域協議会実務者会議	3回
	▶ 土佐町成年後見制度推進協議会	1回
	▶ 土佐町子ども子育て会議	1回
県	▶ ブロック別意見交換会(会長等)	1回
	▶ ブロック別意見交換会(四者協議)	1回
	▶ 嶺北ブロック連絡会	1回
	▶ 市町村社協連絡会	4回
	▶ 中央東管内生活支援コーディネーター交流会	2回
	▶ 中央東地区連絡会・企業ネットワーク会議	1回
	▶ 中央東圏域精神障害者支援関係者会議	1回
	▶ 高知県地域医療構想調整会議	1回
	▶ 日本一の健康長寿県構想嶺北推進協議会	1回
	▶ 人材確保育成検討会	1回
	▶ 福祉教育連絡会(県社協)	1回
	▶ 保護司会との連携会	1回

## ◆在宅福祉部門◆

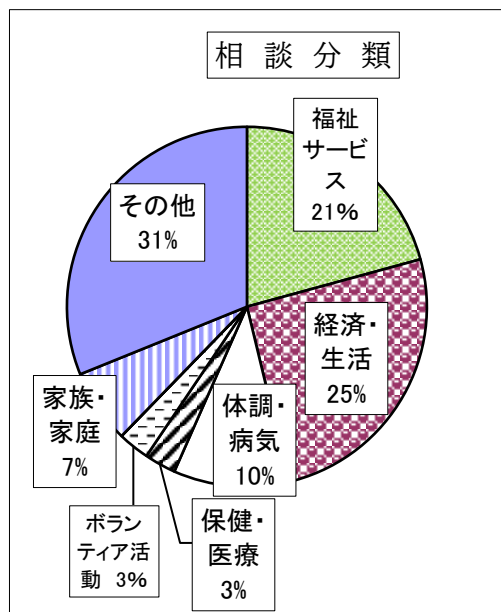
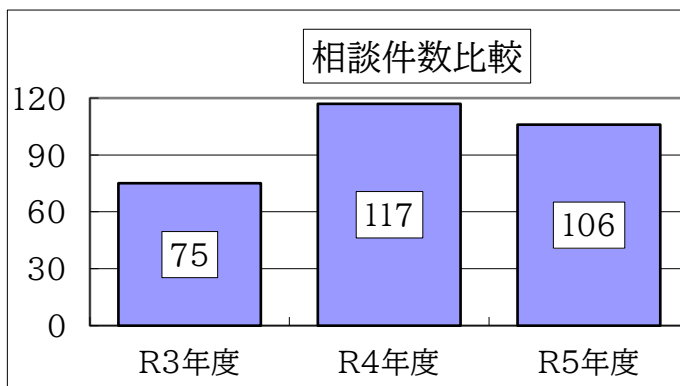
身近で気軽に相談できるよう役割を充実させ、在宅生活を伴走的に支援しました。

### (1) 電話や来所での相談対応(きいてねっと)

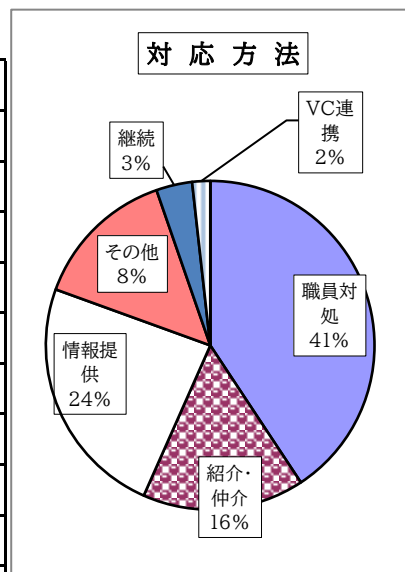
106 件

- 7月発行「福祉とさちょう」で『きいてねっと』の周知を図り、総合的な相談窓口として相談を受け付け、対応した

相談場所		相談方法	
91	社協	電話	51
5	訪問	来所	18
10	その他	出先	2
		その他	35
106	計	計	106



相談分類	対応方法
22 福祉サービス	職員対処 46
27 経済・生活	紹介・仲介 18
11 体調・病気	情報提供 27
3 保健・医療	相談のみ 16
0 学校	継続 4
3 ボランティア活動	VC連携 2
0 いきがいづくり	取下 0
7 家族・家庭	
33 その他	
106 計	計 113



### (2) 心配ごと相談所を活用した出張相談対応

12 回 年間相談件数 3 件

- ▶ 毎月1回、10時から15時まで、行政・消費生活・人権と共同開設

### (3) 自発的に支援が求められない方への伴走的支援

- ▶ 地域包括支援センターや町保健師等と連携し、情報共有
- ▶ 食料支援をツールとした声掛け、制度の紹介等支援を実施  
実人数 12 人 (延 93 人) 食品提供 1,245 食



(4) **訪問介護・居宅介護を通じた在宅生活支援** 延べ 392人 3,042回

- ▶ 11月に閉設となった、他訪問介護事業所の利用者10名を新規に受け入れた
- ▶ 急増したサービス必要量に対応する為、非常勤を正規雇用し、提供量を確保し

◎サービス提供責任者:1人(正規・介護福祉士)

◎介護福祉士:2人(嘱託1・非常勤1 ⇒正規1・非常勤1)

◎2級ヘルパー:2人(非常勤2 ⇒正規1・非常勤1)

▶ 介護保険事業

訪問介護事業 対象者 年間 31人 (令和6年3月現在 20人)

介護予防・日常生活支援総合事業

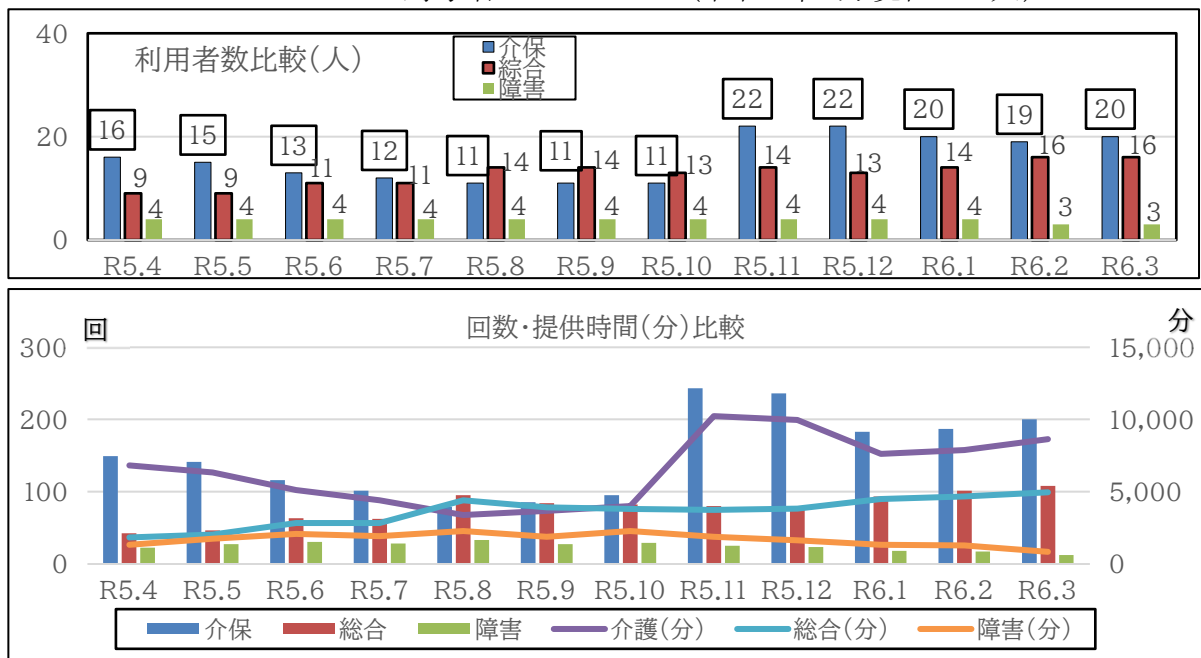
対象者 年間 20人 (令和6年3月現在 16人)

▶ 障害福祉事業

対象者 年間 4人 (令和6年3月現在 3人)

▶ 自立生活支援訪問事業(町委託金対象)

対象者年間 0人 (令和6年3月現在 0人)



(5) **生活困窮者自立支援法に基づく自立支援**

○ 母子家庭や障がいに伴う生活困窮者への支援や、ひきこもり状態の情報収集に努めた

▶ 職員体制 ◎主任相談支援員:1名(正規)

◎相談支援員:1名(嘱託)

▶ 県・中央東福祉保健所・県社協・町保健師・教育支援センターと連携し支援対応

▶ 定期的に各支所、図書館等に関連チラシ等配布、協力依頼、情報収集

▶ 県社協フードバンク、こうち食支援ネットと連携し、食糧支援

▶ 自立相談支援機関受付件数 20件 プラン作成 0件

▶ ハローワークと連携し、求人情報を掲示

(6) **障害者総合支援法に基づく計画相談及び自立支援**

▶ 職員体制 ◎相談支援専門員:1名(正規)

○ 一般相談事業を受託し、関係機関(就労継続支援B型事業所、グループホーム、訪問介護訪問看護、行政等)と連携しながら、本人や家族への支援に取り組んだ

▶ 対象者 37人

○ 指定特定相談支援事業(計画相談支援)には、定期的にモニタリング、計画作成を実施

▶ 対象者 26人

(7) **訪問活動を実施し、顔のみえる関係づくり** 計 1,727 回の訪問を実施

▶ 生活支援コーディネーターによる訪問 88 件

▶ あったかふれあいセンター職員による訪問 581 件

▶ 生活困窮者相談支援員による訪問 388 件

▶ 障害者相談支援事業による訪問 368 件

▶ 日常生活自立支援事業による訪問 302 件

(8) **日常生活自立支援事業による生活支援**

▶ 職員体制 ◎専門員:1名(正規) ◎生活支援員:1名(非常勤)

▶ 利用者 4人(認知症高齢者1人・知的障害者1人・精神障害者2人)

▶ 利用内訳 日常的金銭管理サービス 4人 書類預かりサービス 1人

(9) **成年後見制度の周知及び権利擁護の取り組みの推進**

▶ 土佐町人権教育研究協議会に参加 2人

▶ 本山町社協法人後見事業運営委員会に参加(3月開催) 1回

▶ 土佐町成年後見制度推進協議会に参加(9月開催) 1回

▶ 権利擁護研修参加(介護福祉士会・訪問介護員) 1回

▶ 意思決定支援研修(相談支援専門員) 2回

▶ 虐待防止・身体拘束適正化委員会を開催(3ヶ月毎) 4回

(10) **低所得者層への福祉資金貸付けによる自立生活への支援及び償還指導**

○ 生活福祉資金貸付事業事務を県社協より受託

▶ 令和6年3月31日現在 貸付件数 3件 令和5年度 新規貸付 0件

▶ 令和6年3月31日現在 新型コロナウイルス感染症特例貸付(令和2年1月～令和4年9月)

貸付件数 26件(実人数11人)

非課税世帯の免除申請1件、町外への転出4件(1人)、債務整理への移行7件(2人)

○ 小口生活福祉資金貸付事業(自主財源:500,000円)

▶ 令和6年3月31日現在 貸付件数 0件 令和5年度 新規貸付 0件

(11) **車椅子貸し出し(通院や選挙等外出に活用いただいた)** 16回

制度の間にある方に手を伸ばし、支援に繋げるよう努めました。

(1) **社会参加応援事業のとりくみ**

1人

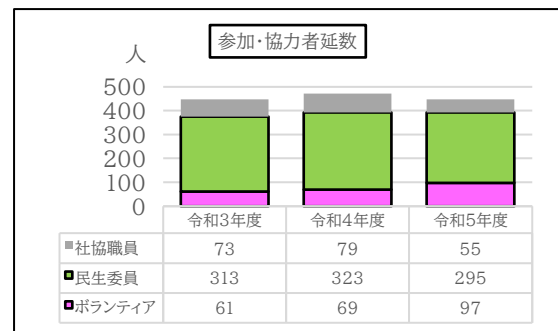
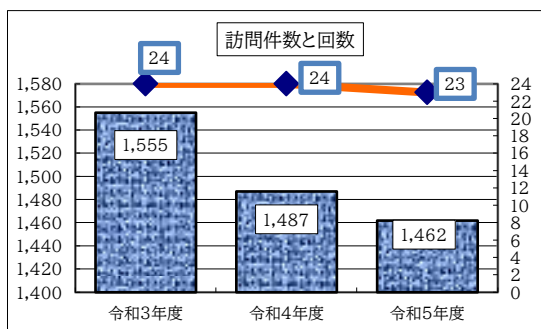
- なんらかの事情で社会参加できていなかった方へ参加しやすい場になるよう検討した
- 援助上限を設定している為、超過した場合のつなぎ先が課題となった

(2) **社会福祉充実予算を活用した地域福祉活動の支援**

該当なし

(3) **老人給食事業の見直し、「見守り訪問ふれあい便」の開始(令和4年度・月2回)**

- ▶ 配食サービスについて、生活支援・介護予防連絡会で協議がはじまった
- ▶ 対象者 85歳以上独居高齢者、見守りが必要と判断された方 89人
- ▶ 訪問件数 1,462件 (見守り訪問活動)
- ▶ 訪問協力者 ○民生委員 23人(延べ295人) ○ボランティア 19人(延べ97人)



各機関と連携した見守り活動を推進しました。

(1) **民児委員・福祉推進員による地域の実態把握**

- ▶ 7月に27人の民児委員と・関係機関でのネットワーク面談を実施

(2) **見守り協定団体・警察との連携会議の実施**

内容検討中

(3) **緊急時の声かけ方法等の検討**

- ▶ 行政と連携し、民生委員への声掛け要請や、職員による電話対応を実施

(4) **高齢者世帯防火防災点検の実施**

- 消防署、警察署、四国電力等と協力し、防災点検、防犯意識の啓発
  - 4月 実施地区： 上ノ土居、下地蔵寺 対象人数： 7人
- 嶺北電気工事業組合のボランティア事業(4年毎に巡回)
  - 8月 実施地区： 石原 対象人数： 5人

地域における支援体制づくりに努めました。

- (1) **生活支援・介護予防連絡会の協働開催**
- ▶ それぞれの立場から把握した情報について協議 4回
  - ▶ あったか推進会議にて地域の実情把握に努めた 前期:9地区、後期:全体会
- (2) **地域内での助け合いの促進のため、で愛ふれ愛たすけ愛懇談会実施** 実施なし
- ▶ 主任会で内容の検討し、開催は見合わせる事とした
- (3) **傾聴ボランティア訪問** 対象者 1人 10回
- (4) **認知症地域支援推進員を配置**
- ▶ 職員体制 ◎認知症地域支援推進員:1名(正規)
  - 多職種協働による情報交換、事例検討会の実施
    - ▶ あじさいネット会議の開催 2回 15人
  - 職員やキャラバンメイト等の資質向上に向けた学習会の実施・参加 2回
  - 認知症に関する正しい知識の普及啓発
    - ▶ 地域の集いの場を活用した認知症学習会 1回
    - ▶ 土佐町企業等訪問活動の実施 17件  
スタッフ:キャラバンメイト、認知症サポーター、地域包括支援センター職員、認知症地域支援推進員
    - ▶ 小学校での読み聞かせボランティアを活用した認知症理解への学習 7回
  - 認知症の人やその人を地域で支える体制づくり
    - ▶ グループ回想法の実施 あったかふれあいセンターの場を活用 2回
    - ▶ ケアパスの活用(訪問活動や学習会で活用)
- (5) **介護家族のつどいの開催**
- ▶ 実施 6回 参加者 延 36人
  - ▶ 講座開催:8月「シニア世代のための整理収納術」 参加:25人  
:9月「介護に役立つ(かもしれない)水分摂取に関する知識や工夫」 参加:6人
- (6) **認知症カフェの啓発** あったかふれあいセンターの場を活用
- ▶ あったかふれあいセンター間で交流 3回
  - ▶ 認知症カフェ研修参加(認知症地域支援推進員) 1回

行政・関係機関と連携し、個々のニーズに対応するよう努めました。

- (1) 民児協との連携による保育・学校・保護者との連携づくり  
 ○ 個々のケースに対応し、必要なつながりづくりに努めた  
 ▶ 新入学時の説明会に参加 1 回
- (2) 地域包括支援センター・行政や民児協等関係機関(者)との連携による協働支援  
 (ケース会の実施) ネットワーク面談 23回
- (3) 関係機関と情報共有、ケース会 9 回  
 ▶ 障害者相談事業ケース会 4 回  
 ▶ 生活困窮自立支援事業ケース会 5 回
- (4) 嶺北地区自立支援協議会へ参加し障害者の課題解決にむけた取り組み  
 実施なし
- (5) 民児協・学校・保護者・関係機関と連携を強化し、子どもたちの適切な見守り・支援  
 ▶ 要保護児童対策地域協議会実務者会へ参加 3 回
- (6) 就労継続支援B型作業所へ協力し、連携する  
 ▶ 常に連絡を取り合い、必要な情報共有を実施
- (7) 「やまびこ倶楽部」を通じ、現状の把握や相談に応じる  
 ▶ やまびこ倶楽部 5 回
- (8) 身障協等と連携し、障害(児)者の社会参加への取り組み  
 ▶ 外出支援 1 回 (10月身障協(12人参加)県外研修への支援)

ボランティアセンター役割の明確化と職員の資質向上を図り、より多くの方々が地域活動に参加できる機会をつくりました

(1) ボランティアセンター運営計画の作成

- ▶ 作成済みで、内容について地域福祉部会で話し合いを実施 1回

(2) ボランティア登録の推進

24 団体 個人 39 人

(3) ボランティアに関する調査

- ボランティア登録者に、登録更新(4月～8月)の際意見等聞く機会を持った

(4) ボランティア養成講座の実施

- ▶ 9月9日 傾聴ボランティア講座 12人

(5) センターのマッチングによるボランティア活動の促進

- あったかふれあいセンターへのボランティアコーディネート等 463回 1,482人
- 奨学金返還免除のための地域貢献活動の支援(対象:大学生・専門学生) 14名  
(実人数)

(6) NPO・ボランティア団体への活動支援

- 企業、団体の活動支援とボランティア募集を行った
  - ▶ 活動日程の調整 どんぐりボランティアの会
  - ▶ 活動の支援 ミニ88を楽しむ会、れいほくねこ部

(7) NPOや企業等との関係強化

- ▶ ボランティア登録更新確認の訪問を実施 3回
- ▶ 『ほにゃらら新聞』配布での訪問を実施(8月・1月・3月) 3回

(8) NPO団体とのランチミーティングの開催

- つながり作りが趣旨であったが、一定の関係性もでき、SNSからの情報も得られる為、開催は見送る

(9) 災害に備えた体制整備の強化

- ▶ 災害ボランティアセンター所長予定者会議参加 1回
- ▶ 「みんなの森」防災への取り組みに参加 1回
- ▶ 冬プロでの「災害時に役立つ」企画を実施 1回

(10) 地域福祉活動及びボランティアに関する情報の発信

- ▶ 「ほにゃらら新聞」で収集ボラ等紹介 3 回
- ▶ ボランティア登録者への講座案内送付 2 回
- ▶ フェイスブックへの投稿 50 回

(11) **レク資材・印刷機等の貸し出し**

- ▶ レク資材 プロジェクター等機器 24 回
- ▶ 印刷機利用 7 回

(12) **ボランティア活動保険への加入促進** 269 人

次世代ボランティアの育成と地域や学校における福祉教育の充実を図りました。

(1) **福祉教育推進計画の作成**

- ▶ 部会で、地域への社協出前講座を確認した

(2) **学校や教職員との福祉教育の推進に係る懇談の実施**

- ▶ 土佐町小学校と障害者スポーツセンターと打合せ 3 回 (内ZOOM1回)
- ▶ 土佐町版中学生職場体験学習検討委員会に参加 1 回
- ▶ 嶺北高校地域協働コンソーシアム推進委員会に参加 1 回

(3) **学校と地域を結ぶ授業カリキュラムの作成・授業のサポート**

- ▶ 土佐町小学校 打合せ 2 回 授業 7 回
- ▶ 嶺北高等学校 打合せ 2 回 授業 7 回

(4) **若年層への地域活動や講座の参加促進等の啓発**

- ▶ 「防災」をテーマに、あったか冬プロと合同企画実施 14 名

(5) **小地域の要望・課題に合わせた福祉教育・生涯学習の機会の提供** 25 回

- 社協出前講座を提案し、防犯・防災・オーラルフレイル・空き家対策・交通安全・悪徳商法・食事について・集落活動センターについての学習会を実施 参加者延297人

(6) **学生を対象とした福祉・ボランティアワークキャンプの実施**

- ▶ 8月3日に実施 小学生:12人 中学生ボランティア:1人 県社協職員3人

第6次地域福祉活動計画の目標達成に向け、住民が主体的に活動できるよう支援をしました。

(1) 地域(福祉)活動支援センター(仮称)の増設に向けた取り組み

- ▶ 職員体制 ◎地域福祉コーディネーター 1人(正規)

○ 地域活動支援

- ▶ 石原:「健康と防災」活動
- ▶ 平石:「おやつな学校」への取り組み協力
- ▶ 地蔵寺:集落活動センター「カフェイベント」・「避難訓練」への協力
- ▶ 相川:「棚田ウォーキング」・「フォトコンテスト」・「ららら収穫祭」への協力
- ▶ 森:「防災を考える会」への参加
- ▶ 松ヶ丘:「ワークショップ」への参加
- ▶ 田井:「東部地区振興会」への参加

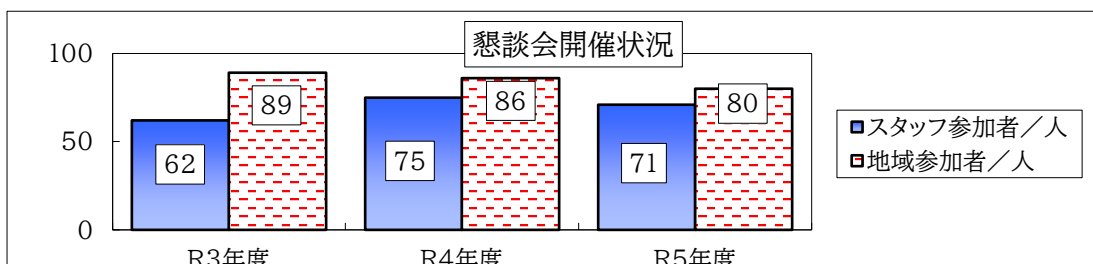
(2) 地域アセスメントシートの活用

- ▶ 今年度は地域アセスメントシートの更新のみ実施

(3) 住民同士の話し合いの場づくり

- ▶ 地域活動推進団体等の話し合いの場への支援、参加 29回  
内訳(石原1回、相川8回、森11回、松ヶ丘4回、田井5回)

- ▶ 第6次活動計画推進懇談会を旧小学校区単位で開催 10回



旧小学校区	月 日	場 所	開始時間
瀬戸	1 月 23 日	瀬戸コミュニティセンター	13:00
石原	1 月 23 日	石原コミュニティセンター	18:30
平石	1 月 25 日	平石コミュニティセンター	18:30
地蔵寺	1 月 30 日	地蔵寺笑学校	18:30
和田	2 月 1 日	中和田集会所	18:30
森	2 月 6 日	保健福祉センター	18:30
松ヶ丘	2 月 8 日	松ヶ丘コミュニティセンター	18:30
田井	2 月 13 日	農村環境改善センター	18:30
相川	2 月 15 日	相川コミュニティセンター	18:30
南川	2 月 11 日	南川会館	13:00

(4) 地域活動支援交付金の活用を促進

- ▶ 地区長会、地域活動計画懇談会で啓発し、申請に至る支援を行った 6地区



- (5) **行政地域担当職員・支援員・協力隊等地域支援における連携会議の開催・参加**
- ▶ 集落支援員連絡会に参加 10 回
  - ▶ 役場地域担当者リーダー会議に参加 7 回
  - ▶ 役場地域担当者会に参加（瀬戸・南川1、石原1、地藏寺1、相川2、森・和田2、田井3） 10 回
- (6) **まちづくりメイトとの連携による、継続した計画の推進**
- ▶ 集落活動センター代表や運営委員との関わりによる計画の推進が中心となり  
まちづくりメイトへの連携には至らなかった
- (7) **地域担当職員の役割の明確化と地域支援の強化**
- ▶ 地域アセスメントシート地域支援については各担当職員が作成に関わった

旧小学校区におけるコミュニティを持続し、支え合いの基盤をつくり、誰もが参加し活躍できるあったかふれあいセンターの機能強化を図りました。

- (1) **サロンコーディネーター・地域サポーターの配置**
- ▶ サロンコーディネーターの配置はせず、職員が各地域を担当
  - ▶ 地域サポーター9人を配置した
- (2) **拠点・サテライトの安定的な集いの開催(集う)** 324 回 延べ 4,624 人
- (3) **あったかふれあいセンター推進会議の実施し住民主体の活動を推進**
- ▶ 活動評価、計画の策定、生活課題の情報共有 9 回 延べ 135 人
  - ▶ 9か所におけるサテライト開設

集う	324回	延べ	4,624 人
交わる	12回	延べ	61 人
学ぶ	21回	延べ	306 人
送る	247回	延べ	1,847 人
生活支援	66回	延べ	22 人
訪問	116回	延べ	581 人

- (4) **利用していない方等へのアプローチ強化(訪ねる)**
- 訪問件数延べ 581 件

- (5) **異世代・地域外との交流の機会の増強(交流)**
- ▶ 夏休みプロジェクト 参加 34人(子ども31人・ボランティア3人)
  - ▶ 冬休みプロジェクト 参加 14人(子ども9人・おとな5人)

- ▶ 高知大学地域協働学部学生との地域学習(地域交流) 2回 大学生延べ21人

(6) 専門的指導を強化し、いきがづくりや、健康・教養等の学習プログラムの実施(学ぶ)

- ▶ 健康運動指導士、健康運動指導士、歯科衛生士、司法書士等による学習会を実施

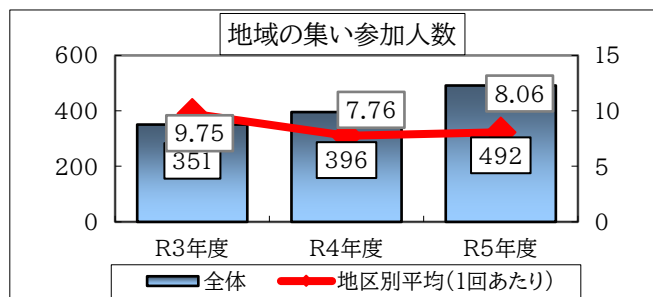
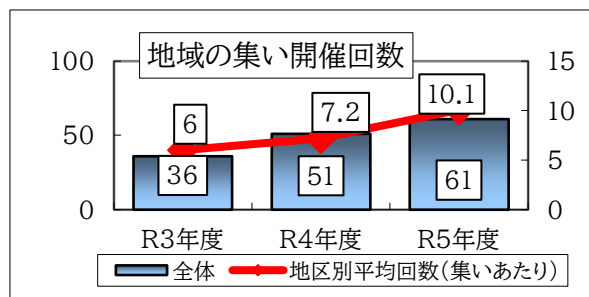
22回 257人

○ 介護予防普及啓発事業(町受託)の推進

- ▶ 地域の集いにおける転倒予防運動の実施

実施集い人	回数	参加人数	
		実人数	延べ人数
中島ふれあいの集い		活動休止	
上野・田井ふれあい喫茶	10	20	113
桜会	11	10	82
上ノ土居の集い	9	16	59
田井なでしこふれあいの集い	9	22	104
舞田の集い	11	8	73
宮古野のつどい	11	10	61
合計	61	86	492

※宮古野の集いはR6年度より別途自主活動することとなった



- ▶ あったかふれあいセンターにおける転倒予防運動の実施

サテライト拠点	回数	参加人数	
		実人数	延べ人数
平石	11	16	87
地藏寺	21	21	291
和田	10	17	101
森	47	18	419
石原	11	14	116
松ヶ丘	8	20	118
相川	12	16	105
南川	8	6	39
黒丸・下瀬戸	0	0	0
とんからりんの家	178	37	2,019
合計	306	165	3,295

- ▶ 若い世代に向けての普及啓発教室を開催

トレーニングサポーター養成講座(ストレッチ&筋トレ教室) 9回 100人

- (7) **ゆうあい号の活用等ニーズに沿った送迎体制・外出支援の充実**  
 ▶ 送る(ゆうあい号・ノアを活用した送迎支援) 延べ 2,411 件
- (8) **ゲートキーパー機能を意識し、必要な支援につなぐ**  
 ▶ つなぐ(地域包括支援センター等) 延べ 7 件
- (9) **地区の実情とニーズに沿った集いの開催・検討**  
 ▶ 「おっちゃんの集い」開催継続  
 ▶ 「宮古野の集い」活動支援
- (10) **住民主体の集い運営の支援**  
 ▶ 支援会議の開催 7 回 (あったか職員連絡会6回、地域の集い連絡会1回)  
 ▶ 地域の集い支援 6 カ所  
 ▶ 外出支援 2 カ所
- (11) **地域見守りマップ(仮称)を作成し、情報共有と状況把握に活用**  
 ○ 令和3年度までにあったかサテライトで作成済み(松ヶ丘・石原・南川・森・瀬戸)
- (12) **働ける場やしきみをつくるなど集い機能の強化**  
 ○ 集いの場への参加を通して、地域とつながり、それぞれが役割を果たせる機能ができている
- (13) **日常生活上の課題解決に向けた支援**  
 ○ 買物支援や役場当への申請書類の提出、食料支援、軽微な荷物運びなどの依頼に対応  
 66 件 延べ 221 人